

**第36回周産期学シンポジウムにて [2018年1月19日(金)、20日(土)]、  
新垣先生と市塚准教授がシンポジストとして発表いたしました。**

昭和大学は症例が多く、かつ指導医も多く、その道のエキスパートがたくさんいます。そのため、やる気さえあれば、多くの発表のチャンスが与えられ、もれなく熱心な指導（発表当日早朝まで）が受けられます！

日々の臨床でのプレゼンやカンファレンスでのトレーニングで鍛えられているおかげで、シンポジウムでは尻込みせず、緊張感を楽しみながら発表することができました。準備から発表までの一年半、とても勉強になりました。

活気に溢れる若手産婦人科医師の皆さん！是非、昭和大学産婦人科講座で、一緒に切磋琢磨しましょう！

